

DXの波に乗り飛躍を図るスタートアップ②

－株式会社ロボフル（愛知県名古屋市）の挑戦－

ポイント

- シリーズ・レポートとして、信金中央金庫や一部の信用金庫が出資する、SBIインベストメント（株）が組成、運用するファンドを活用して、さらなる飛躍を図るスタートアップの事例を紹介するものを発行する。
- 今回は、愛知県名古屋市に本社を置き、独自に構築したデータベースを中核として、中小製造業向けに自動化設備の提案や導入支援、メーカー等向けには営業支援サービスの提供に挑戦する株式会社ロボフル（Robofull）の事例を紹介する。

1. はじめに

SBIホールディングス（株）（東京都港区）の100%子会社であるSBIインベストメント（株）（同）は、IT、バイオ、ライフサイエンス、環境、エネルギー分野のスタートアップ等を投資対象とした複数のファンドを組成、運用している¹。信金中央金庫や一部の信用金庫は、これらのファンドの出資者となっている。

ニュース&トピックス No. 2023-37²（2023年8月15日発行）を皮切りに、これらファンドを活用してさらなる飛躍を図るスタートアップの事例を紹介するシリーズ・レポートを発行する。第2弾となる本稿では、AI（人工知能）およびブロックチェーン分野の事業を有する将来性と成長性の高いスタートアップ等を主な投資対象とする「SBI4+5ファンド³（正式名称：SBI4&5投資事業有限責任組合、SBI4&5投資事業有限責任組合2号）」の投資先の一つである株式会社ロボフル（愛知県名古屋市）を紹介する。

なお、本稿作成に際して、株式会社ロボフル（Robofull）代表取締役CEO 山本大様に取材をさせていただいた。貴重なお時間を頂戴したことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

2. 個別事例の紹介（株式会社ロボフル（Robofull））

（1）同社の概要

同社は、中小製造業の自動化を推進することで、わが国の製造業を下支えしたいという高い志の下、2021年1月に創業したスタートアップである（図表1）。事業を一言でいうと、「製造工程を“見える化”したデータベースを通じて、工場で使用する産業設

¹ 2023年10月31日現在、5つのファンド（総額1,975億5,000万円）を運営している。詳細は、SBIインベストメント（株）ホームページ（<https://www.sbinvestment.co.jp/company/fund.html>）を参照

² 当研究所ホームページ（<https://www.scbri.jp/reports/newstopics/20230815-dx1.html>）を参照

³ SBIホールディングス（株）ホームページ（https://www.sbigroup.co.jp/news/2021/0414_12406.html）を参照

備を販売したいメーカーと産業設備のユーザーとなる中堅・中小企業との仲介役（プラットフォーム）を果たすこと」である。人手不足が深刻化する中、特に自動化の必要性を感じながらも検討のできていない中小企業に対し、「より安価に」かつ「質の高い」をコンセプトに、その“つまずき”を解消したいという熱い想いで事業に邁進している。

(図表1) 同社の概要

代表者	山本 大
本店所在地	愛知県名古屋市
事業内容	独自の構想設計システムを用いた中小製造業向けの自動化設備の提案・導入、メーカー等向けの営業支援サービスの提供
従業員数	8名(うち業務委託1名)
設立年月日	2021年1月
資本金	1億5,000万円



(備考1) 写真は、取材に応じていただいた代表取締役CEO 山本大様（同社提供）

(備考2) 同社ホームページをもとに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

し、「より安価に」かつ「質の高い」をコンセプトに、その“つまずき”を解消したいという熱い想いで事業に邁進している。

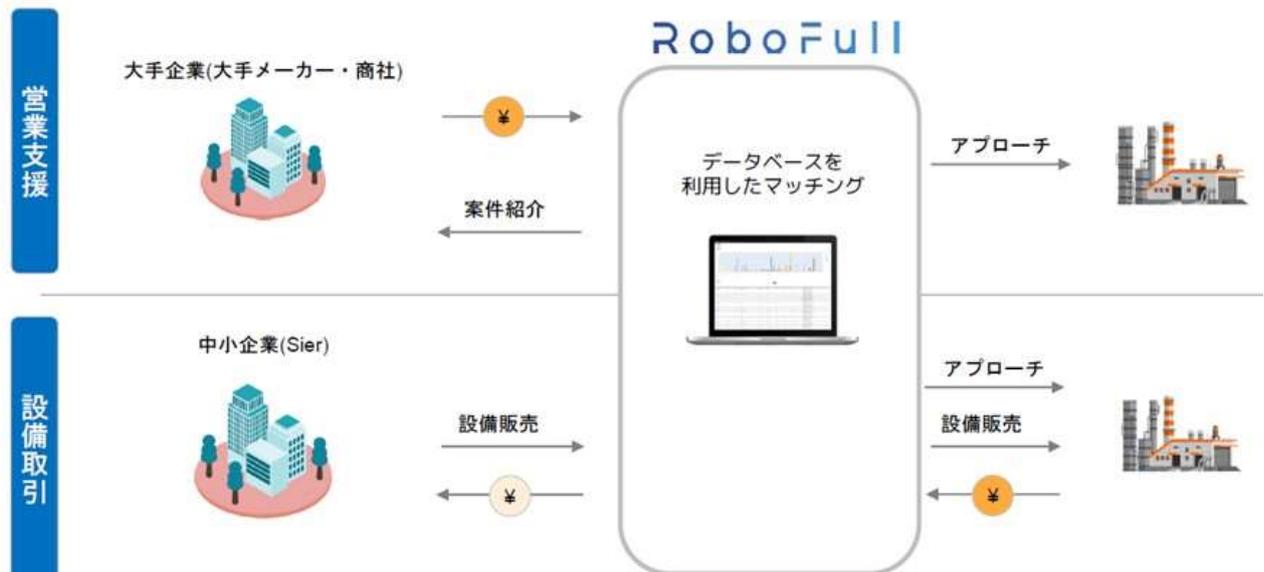
創業当初、山本CEOのほかデータ分析担当とシステム開発担当の3名で、まずは中小企業がサイト上で公表している保有設備や製造工程等の情報を10万社分以上収集し、同社独自のデータベース（MPD：Manufacturing Process Database）の構築に取り組んだ。MPDの構築に目途がついた段階で人員の増強に取り組み、営業担当2名とともにデータ分析担当とシステム開発担当をそれぞれ1名増員して、プロ人材としての業務委託1名を含めて計8名の“少数精鋭”で事業を運営している。

(2) 独自のデータベースを中核としたサービス提供による中小製造業支援に向けた挑戦

同社の主力サービスは、金属加工業を中心とした中堅・中小企業向けの「自動化設備導入サービス」および、自社の製品や商材（設備機械・工具等）を売り込みたいメーカーや商社向けの「営業支援サービス」の2本柱である（図表2）。

「自動化設備導入サービス」は、MPDを裏付けとした独自のサービスで、同社がユ

(図表2) 同社のビジネスモデル



(出所) 同社提供資料

ーザーである中堅・中小企業の自動化ニーズに対して、最適な設備メーカーのマッチングを行う。設備メーカーの技術的な強み・弱みは設備の購入価格に大きく影響するため、同社を活用することで設備の購入価格が約4割も低減した事例が存在する。

本サービスの主なターゲットは、食品業界と並んで人手不足感が強いといわれる金属加工業である。金属加工業は、受託加工（委託を受けて加工を行う製作方式）であることから製造工程が分かりやすいこと、同社が独自に保有する工場の設備等に関するデータベースとの相性が良いこと等から本サービスに馴染む。ただし、金属加工業にサービスを限定しているわけではないため、今後は利用者の業種を広げていきたい考えがある。

なお、本サービスの現時点での利用者は、従業員数50～300名の中堅・中小企業を中心に200社を超えている。

「営業支援サービス」では、中堅・中小企業が使用している設備のメーカー名や設備処理能力等をMPDから検索できるため、（株）デンソーをはじめとするメーカーにとって、高い精度で自社の製品等へのニーズが高い先へアプローチすることが可能となっている。すなわち、メーカーは、展示会に出展するよりも、短期間で成約率の高いアプローチができるというメリットを享受できる⁴。また、エスアイヤー（ロボットシステム開発を請け負う企業）にとっても、MPDを検索することで、自社の得意分野と照らし合わせながら中堅・中小企業にアプローチをできるというメリットがある⁵。メーカーやエスアイヤーにとって、ニーズのミスマッチを避けて中堅・中小企業に効率よくアプローチをできることから、サービス利用のリピーターも少なくないという。さらに、中堅・中小企業にとっても、最適なメーカーやエスアイヤーに巡り合えるというメリットがあり、プラットフォームとしての同社を含めて「三方よし」のサービスといえよう。

なお、設備導入、営業支援の形態で同社と連携するメーカーは現在、60社ほどに上っている。今後、2022年12月21日にビジネスマッチング契約を締結した、地元の（株）十六銀行や（株）愛知銀行からの顧客紹介を含めて、さらに利用者を拡大していきたいと意気込む。

3. おわりに

山本CEOによると、同社がターゲットとしている市場規模は5兆円、32万の工場、メーカー数としては3万社を超えるとみている。しかし、この分野では受発注者の情報格差に基づいた非効率な売買が常態化しており、言い換えれば不完全な市場ともいえる。こうした状況を受けて、同社としては、データを“見える化”することで、商慣行の変革に挑戦したいと意気込む。また、バブル崩壊後、人手不足も輪をかけて、わが国の製造業のグローバルでの地位は低下し続けている。同社としては、こうした製造業の現状を打破する一端を担いたいとも意気込む。

同社のビジネスモデルは、ネット印刷大手のラスクル（株）に近い。ラスクル（株）は、顧客が印刷業者の価格を比較できるプラットフォームとしての機能と、顧客と遊休設備を持つ印刷業者とをマッチングする独自のサービスを兼ね備えることで事業に成功して

⁴ 金属加工業とは言っても、どんな形の部品を製造しているか等個社でまちまちで一括にはできないため、メーカーにとっては中小企業へのアプローチが難しいといわれている。

⁵ エスアイヤーは各社で得意分野が異なることから、一般的に中小企業への最適な提案が困難であるといわれている。

いる。同社も、近い将来、独自性を兼ね備えたプラットフォーマーとして、中小製造業支援における“国内No.1”となる可能性を秘めているのではないだろうか。

山本CEOは、今後、エクイティ（株式）での調達に加えて、デッド（借入等）での調達も増やしていきたいという。その上で、地元の地域金融機関には、積極的な融資に期待するとともに、非金融面では、地元ネットワークを有し、取引先からの信用も高い事業者ならではの有効な顧客紹介も期待している。

地域金融機関である信用金庫には、意欲に燃えた、技術力もパッション（情熱）も高いスタートアップに対して、「地元をよく知っている」という“強み”を活かした伴走支援が求められているといえよう。

以 上

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。